

分野	農業水利改良		事業番号	49	事業名	県営かんがい排水 (基幹水利施設ストックマネジメント事業)						
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	わたげ 和田堰		事業年度 (完了年度は見込み)	H25年度～		H27年度				
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)						
	全体	分土工更新 2箇所、水路補修工 1式			50,000	国庫	25,000	その他	12,500	県債	11,000	一般財源
要	H25年度	実施設計 1式			5,000	2,500	1,250	1,000	250			
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価				ランク	評点		
	必要性 (20)	受益面積	■ 500ha以上		□ 200ha以上500ha未満		□ 200ha未満		A	5		
		施設危険度	■ 人家等への災害が予想		□ 農地への災害が予想		□ 災害が予想されない			5		
		地域用水機能	■ 地域用水機能を有する		□ 地域用水機能を有しない		□			10		
		小計								20		
	重要性 (20)	市町村計画での位置づけ	■ 位置づけあり		□ 位置づけなし				A	10		
		県農政の重要施策への取組み	□ 2つ以上推進		■ 1つ推進		□ 取組みなし			3		
		設計上の環境配慮項目	■ 2項目以上配慮		□ 1項目配慮		□ 配慮項目なし			5		
		小計								18		
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	□ B/C1.2以上		■ B/C1.1以上1.2未満		□ B/C1.0以上1.1未満		B	3		
		早期発現度(効果発現まで)	■ 5年以内		□ 6年以上10年未満		□ 11年以上			5		
		地域特有の取組み	□ 2項目以上		■ 1項目		□ なし			3		
		小計								11		
	緊急性 (25)	用水不足又は排水改良	■ 受益の50%以上		□ 受益の30%以上50%未満		□ 受益の30%未満		A	10		
		応急対策の実施状況	■ 応急対策を実施中		□ 応急対策を過去に実施		□ 応急対策を未実施			8		
		維持管理費節減	□ 50%以上		□ 30%以上50%未満		■ 30%未満			3		
		小計								21		
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な活動が強い		□ 市町村からの要望がある		□ 特に要望ない		B	6		
		事業情報の共有	□ 関係者以外に広く周知		■ 関係者を中心に周知		□ 特に周知してない			3		
		住民参加の状況	□ 住民が計画策定に直接参加		■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映		□ 住民意見は反映していない			4		
小計										13		
費用対効果(B/C)		1.13			評価の合計				A	83		
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本水路は施工後40年近く経過し、老朽化によるゲートの巻上機の不具合や扉体の発錆・塗装剥離・コンクリートの劣化等が生じており、施設の維持管理に多大な労力を費やしている。										
	地域からの要望経緯	施設の老朽化に伴う劣化が進んできたことから、長野県梓川土地改良区から改修要望があり、平成19年度から事業化に向けた検討を行っている。										
	事業説明等の経緯	長野県梓川土地改良区及び松本市との協議を進めるとともに、土地改良区役員を対象とした説明会を実施している。今後は、平成24年11月の土地改良区総代会で本地区の計画について了解を得るとともに、受益者を対象とした地区説明会により事業内容について合意形成を図っていく予定である。										
	環境・景観への配慮項目	ゲートの塗装の配色については、周辺景観との調和に配慮する。既設構造物を有効利用することにより産業廃棄物の発生を抑制するほか、施工時には騒音や振動を最小限に止めるよう配慮する。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
	特記事項	施設の管理は長野県梓川土地改良区が実施している。今後、維持管理の効率化が十分に図れるよう地元の意見を反映した整備を実施する。										
地域の合意形成		□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明				
部意見	基幹水利施設の老朽化が進んでおり、必要性、重要性、緊急性が高い。既存施設の補修対策により、効率的な更新整備を行う。				行政 改革課 意見	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。						